

かほく市議会 議会運営委員会 視察報告

【研修日程】

令和6年11月7日（木）～8日（金）

【視察研修先及び内容】

1. 埼玉県戸田市議会：議会改革の取り組みについて
災害時のための計画「戸田市議会DCP」の策定について
2. 東京都足立区議会：議会改革の取り組みについて

【参加者】

議会運営委員会委員長	杉本	正一
副委員長	坂井	正靱
委員	金子	猛
	大西	潤
	野田	稔彦
	中川	康弘
副議長	丸井	範一
随行	北川	直紀

(埼玉県戸田市議会)

初日の戸田市は、埼玉県南部に位置し、荒川を境に東京都に隣接しており、人口は約14万2千人、面積は18.19平方キロメートルで、平均年齢は、41歳と埼玉県内で一番若い都市であります。

○議会改革の取り組みについて





戸田市議会では、毎年3月末までに各常任委員会単位で、年間の活動計画、テーマを定め、委員会活動に取り組んでおります。

本年度は、総務常任委員会では、「能登半島地震を受けての避難所運営の在り方について」、文教建設常任委員会では「特色ある学校づくりについて」、健康福祉常任委員会では「障害福祉を施策展開するために」、市民生活常任委員会では「文化・スポーツ施策について」を年間活動テーマとし、定例会の閉会中に、テーマについて執行部にヒアリングを行い、先進地視察での検証、議員間討議を行い、1月末を目途に執行部に対し、さまざまな政策立案・政策提言を行っているものであります。今後は、各種統計のデータや各種のアンケート結果をもとに客観的事実も加えることで、政策提言能力等のさらなる向上を目指していきたいとの説明でありました。

そのほかの特徴的な点としては、服装の自由化についてであります。戸田市議会では、多様性や男女平等等の尊重への意識改革を目指し、これまでの各規定から服装に関する規定を撤廃し、細かな基準は設けず、個人の判断による服装の自由化を実施しています。この取り組みは、令和5年マニフェスト対象の「エリア選抜」に選定され、複数の新聞社にも取り上げられたとの事であります。

また、市民の皆様にも、広く議会を知ってもらう契機となることを目的に、「議会を知つ toco 市議会見学ツアー」の実施や「市議会モニター」として3名の方を委嘱し、議会の傍聴などを通してさまざまなご意見をいただき、今後の議会運営に生かしているとのお話でありました。

さらには、情報発信の取り組みとして、Facebook、Instagram を開設し、本会議や委員会の日程をはじめ、議会におけるイベントなどの活動全般や各議員や各会派の紹介等、議会だよりでは伝えきれない情報を投稿しています。

また、災害時の本会議の運営や議案審査などどうするか不明確であったため、災害時における業務継続のための計画「戸田市議会DCP」を策定したとのお話であり、かほく市議会として、能登半島地震を教訓に、災害等が発生した場合の議会及び議員の行動指針について、再確認するとともに今後見直しを検討していかなければならないと改めて感じました。

(東京都足立区議会)

足立区は、東京 23 区の最北端に位置し、北は埼玉県川口市、草加市、八潮市(やしおし)に隣接しており、人口は約 69 万 7 千人で、東京 23 区では第 5 位、面積は 53.25 平方キロメートルで、東京 23 区では第 3 位の広さであります。

○議会改革の取り組みについて



足立区議会でも、戸田市議会と同様に、市民との情報共有、住民参画、議会の機能強化という点において、様々な取り組みを実施しております。

特徴的な点について、市民との情報共有では、本会議、予算・決算特別委員会の映像を、ケーブルテレビの生中継、YouTube で生配信しており、両方を実施しているのは、東京 23 区では足立区のみとの事です。

また、会議録の速報版を会議から 1 週間程度で公開しているほか、政務活動費についても、領収書をホームページにて公開しております。

そのほか、議員を身近に感じてもらうために、ホームページの議員のプロフィール欄に、「趣味・特技」「座右の銘」「好きな食べ物」「足立区のおすすめスポット」を追加したとのお話でありました。

また、住民参画についての取り組みでは、本会議を含め、委員会の傍聴には、制限を設けず、児童・乳幼児も可能としており、託児が必要な傍聴者のために、子どもの保育や授乳・搾乳を行えるよう、議会棟内の1室を託児室として活用しているとの事です。

そのほか、手話通訳者を無償での派遣や聴覚等の障がい者から依頼があれば、難聴用磁気ループ、いわゆる難聴者の聞こえを支援する受信機の貸し出しも可能としており、さらには、中高生を対象とした主権者教育の推進のための模擬区長選の開催や議場でのコンサートなども実施しております。

議会の機能強化についての取り組みでは、災害時にオンラインで協議を行う仕組みを構築し、毎年1回訓練を実施しているというお話でありました。

そのほか、議員の質問機会の拡充を図るため、会期中に文書質問が可能であり、2テーマを上限に行うことができ、議員1人につき年1回、1テーマあたり5項目までと定め、毎年6件から10件の文書質問があるという事です。

議会活動と育児等の両立支援の施策についても、実績はまだないというお話でありましたが、視察時の子どもを連れての移動や宿泊、会議等への参加など、様々なしくみが検討されており、「LGBTに関する議員研修」や「ハラスメントに関する議員研修」など、時代に合った研修を開催しているというお話でありました。

(まとめ)

戸田市議会、足立区議会での議会改革の取り組みは、市民との情報共有、住民参画、議会の機能強化という点において、時代の流れに応じて、様々な取り組み、改善を実施しており、議会改革度調査の結果からも、全国総合順位が上位という結果も納得できる内容でありました。

かほく市議会においても、今の時代に合っているのかどうか、見直し・改善すべき点がないのか、これまでの取り組みについて、検証しなければいけないと感じた研修でありました。